



# 奈良市第4次総合計画

後期基本計画（概要版）

まほろばVISION2020

市民が育む世界の古都奈良  
～豊かな自然と活力あふれるまち～

奈良市

# 都市の将来像 市民が育む世界の古都奈良

～豊かな自然と活力あふれるまち～

豊かな環境の中で、市民が相互に、また、多くの来訪者と交流することにより、にぎわいにあふれたまちで生き生きと暮らすことを目指します。

将来の目標人口

35万人  
(2020年)

## 6つのまちづくりの方向性

都市の将来像の実現に向けて、6つの方向性でまちづくりに取り組みます。

時を超えた  
歴史と自然を  
守り、活かし、  
伝えるまち

観光をはじめと  
するビジネス  
モデルの  
創造による活気  
あふれるまち

歴史と未来、  
都市と田園が  
共生する  
持続可能なまち

いつまでも  
子や孫が笑顔で  
暮らせるまち

世代を超えて  
市民が力を  
出し合い、  
つながりを  
育むまち

市民と行政が  
協働する  
健全な財政  
によるまち

総合計画は、  
10年間のまちづくりの  
基本方針です。

都市の将来像実現に向けて、  
今後5年間の「後期基本計画」を  
新たに策定しました。

奈良市第4次総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画で構成されています。

「基本構想」は、目指すまちの姿である「都市の将来像」と、これを実現するための基本方針を定めたもので、10年間の計画です。

「基本計画」は、各分野で取り組む施策を体系的に定めた5年間の計画です。

「実施計画」は、基本計画に基づいて実施する具体的な事業の計画で、3年間の計画ですが、毎年度見直しを行います。

計画期間を2011(平成23)～2015(平成27)年度とした「前期基本計画」の計画期間終了に伴い、次の5年間(2016(平成28)～2020(平成32)年度)の取組を示す「後期基本計画」を新たに策定しました。

基本計画は、7つの章で構成し、より良いまちづくりを進めるため7つの分野でさまざまな施策に取り組んでいます。後期基本計画では、少子高齢化への対応や生活の安全・安心の確保、地域経済の活性化のため、「子どもの夢・未来戦略」「安心・健康長寿戦略」「観光力アップ戦略」の3つの重点戦略を掲げ、特に力を入れて取り組んでいきます。

## 重点戦略

～安心して子どもを育てられ子どもたちが夢をもてるまち、市民が健康で生き生きと安全に暮らすことができるまち、多くの人が訪れる活気あるまちを目指して～

### 重点戦略 1 子どもの夢・未来戦略

若い世代が安心して子どもを育て、また、子どもたちが夢や未来への希望をもてるような社会をつくるために、子どもを持ちたいと希望する人が安心して出産できる環境をつくるとともに、医療や保育の充実など安心して子育てができる環境づくりを進めます。

また、教育の分野では、奈良市独自の教育カリキュラムに基づき、幼小連携・小中一貫教育の中で質の高い公教育の実現を目指し、自らが生まれ育った地域を誇りに思い、夢を実現する力をもつ子どもを育てます。

さらに、子どもたちが大人になった時に、奈良市で好きな仕事に就き、夢とやりがいをもって働くことができるよう、雇用や就労に関する環境を整えます。



### 重点戦略 2 安心・健康長寿戦略

高齢者が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けられるよう、健康寿命の延伸に努めるとともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援などを一体的に提供できるよう分野を横断した施策を展開します。

また、防災については、今後の大規模災害に備え、市民や事業者、市民団体やNPOとの連携を強化しつつ、地域による主体的な防災や減災への取組を支援していきます。

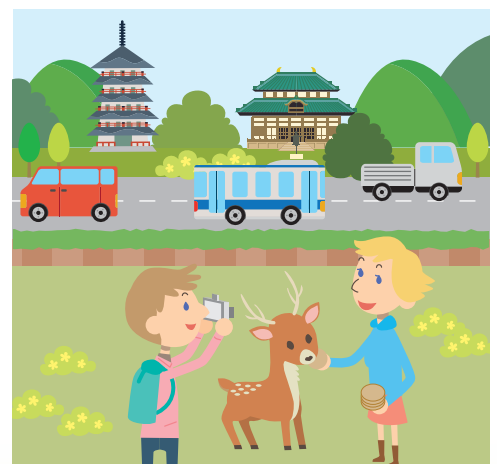
道路や橋・公共施設などは、必要に応じて計画的に耐震化や改修を進めます。



### 重点戦略 3 観光力アップ戦略

特にアジア地域からの観光客が増加しており、今後も外国人観光客の更なる増加が見込まれています。観光客の増加は、奈良市の地域産業にも大きな波及効果を及ぼすことが期待されるため、より多くの観光客が奈良市を訪れ、快適に旅行を楽しめるよう、受入環境の整備に早急に取り組めます。

また、地域の観光関連事業者による取組を支援するなど、協働により地域を挙げての観光まちづくりを推進し、観光が地域経済の発展に寄与するような仕組みづくりを推進します。



# 基本施策

基本構想で掲げた6つのまちづくりの方向性に沿って、7つの分野で取り組む施策の基本方針と具体的内容を示しています。

## 市民生活

性別や年齢、障がいの有無、文化の違いなどを超えて、市民一人ひとりがお互いに尊重し合い、地域で支え合うまちづくりを進めます。



## 教育・歴史・文化

歴史的な文化遺産を守り継承しながら、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、誰もが文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めます。



## 保健福祉

子ども・高齢者・障がい者を含むあらゆる世代が支え合い、健やかに暮らせるまちづくりを進めます。



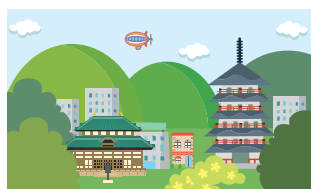
## 生活環境

誰もが生涯にわたって安全・安心を実感し、快適な環境で暮らし続けられるまちづくりを進めます。



## 都市基盤

歴史的な文化遺産や自然環境などの資源を生かし、将来にわたって都市と自然が調和した住みよいまちづくりを進めます。



## 経済

交流人口の拡大と産業の活性化を目指して、市民や来訪者が奈良の魅力に触れながら、生き生きと活動し、交流するまちづくりを進めます。



## 基本構想の推進

基本計画を進めていく中で、各分野に共通して取り組むべきことを示し、基本構想の実現を目指します。



## 第1章 市民生活

### 主な内容

#### ●地域コミュニティ、交流（地域間交流）

地域住民のコミュニティ活動への参加を促すとともに、協働によるまちづくりを推進するため、市民や市民公益活動団体の活動支援と情報提供、人材の育成を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値*
自治会加入率（4月1日現在）	79.1% (2014年度)	80.0%
市民公益活動入門講座、ボランティア入門講座への参加者数	148人 (2013年度)	300人

#### ●男女共同参画

政策・方針の決定及び実施の場への男女共同参画を推進するとともに、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた啓発と男女の人権の尊重への意識改革を進めます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
審議会・委員会などの女性委員の登用率	31.1% (2013年度)	35.0%

#### ●人権・平和

地域における人権教育を推進し、人権問題への市民意識の向上に努めます。また、さまざまな人権問題解決のための啓発活動を推進します。

目標の達成度を評価する指標	現状値	目標値
人権教育地区別研修会参加人数	1,342人 (2013年度)	1,600人



\*「目標の達成度を評価する指標」の「目標値」は2020年度（または2020年）の値。（以下同様）

## 第2章 教育・歴史・文化

### 主な内容

#### ●学校教育

幼小連携、小中一貫教育を進めるとともに、少人数学級編制を効果的に運用し、きめ細かな教育を推進します。また、市立一条高校の教育内容を充実します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
小中一貫教育による学習指導・生徒指導上の効果がみられる中学校区数	2015年度から実施	19校区
「一条高校に来てよかったと思う」生徒の割合（満足度アンケート）	89.5% (2013年度)	95.0%

#### ●青少年の健全育成

学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくりを進めます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
放課後子ども教室の年間実施日数	30日/校 (2013年度)	35日/校

#### ●生涯学習

市民の多様な生涯学習に対応できる人材の確保や機会の充実を図り、市民の学習活動を支援します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
公民館施設の利用者数	613,804人 (2013年度)	650,000人



#### ●文化遺産の保護と継承

文化財を適切に保存して次世代に継承し、市民文化の向上のために積極的に活用します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
市民考古サポーター*の活動人員	1,635人 (2013年度)	2,000人

#### ●文化振興

市民が文化に接する機会を拡充します。また、市民の自主的で創造的な文化活動を支援します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
市立文化施設の利用者数	789,865人 (2013年度)	865,000人

#### ●スポーツ振興

イベント等を通じて市民の生涯スポーツを推進します。また、スポーツを通して地域経済の活性化に取り組みます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
市営スポーツ施設等利用者数	1,366,224人 (2013年度)	1,390,000人

## 第3章 保健福祉

### 主な内容

#### ●地域福祉

市民の地域福祉活動への参加を促進し、共に支え合う地域づくりを目指します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
地域福祉活動計画の策定地区数	19地区 (2014年度)	46地区

#### ●子育て

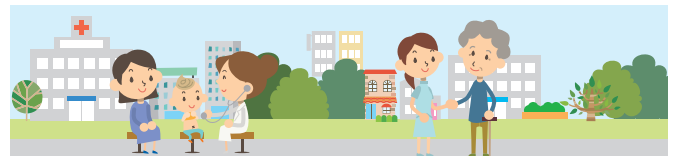
親子の居場所づくりや子どもの医療費助成などによる子育て支援を行うほか、保育所やバンビーホームの充実により子育てと仕事の両立を支援します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
子育て中の親子の集える場の利用者数（年度末時点）	125,056人 (2013年度)	190,000人

#### ●障がい者・児福祉

障がい者が地域で自立した生活を営めるよう、生活支援や就労に関する支援を行います。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
障害福祉サービス（介護給付費関係）月間利用者数（3月末時点）	2,539人 (2013年度)	3,200人



#### ●高齢者福祉

高齢者の積極的な社会参加を支援し、高齢者が生き生きと生活できるよう健康寿命の延伸を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
老人福祉センターの利用者数	176,557人 (2013年度)	200,000人

#### ●医療

医師・看護師の確保に加え、病院と診療所の連携等を通じて、地域医療体制や救急医療体制の充実を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
市立奈良病院の救急車受入不能率	7.9% (2013年度)	10%以内維持

#### ●保健

健康診査や各種検診により疾病予防と健康増進を図ります。また、感染症対策や食の安全確保等に取り組みます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
大腸がん検診受診率	29.2% (2013年度)	50.0%

\*市民考古サポーター：奈良市が主催する市民考古学講座の修了者で、文化財保護を目的とした出土文化財整理や公開展示、講演会などの活動に協力しています。

## 第4章 生活環境

### 主な内容

#### ●危機管理と地域の安全・安心(防災・消防・防犯・交通安全)

災害に強い都市基盤の整備や市民の防災意識の高揚を通じて、地域防災体制の充実を図ります。また、消防・救急救助体制や交通安全・防犯対策の充実を図ります。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
自主防災組織結成率	97.9% (2013年度)	100.0%
救急自動車現場到着時間	9分18秒 (2013年)	8分00秒

#### ●環境保全

市民や事業者、観光客等の環境保全行動を促し、温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの導入を推進します。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
市内の再生可能エネルギーの導入量	25,600kW (2014年度)	47,000kW



#### ●生活・環境衛生

地域のボランティアによる美化活動への支援やポイ捨ての防止等を通じて環境美化を推進し、衛生的な生活環境の確保に努めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
アダプトプログラム <sup>*1</sup> 推進事業団体活動回数	1,700回 (2013年度)	2,100回

#### ●廃棄物処理

市民団体等と連携してごみの減量やリサイクルの促進に取り組むとともに、産業廃棄物の適正処理を進めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
家庭系ごみ排出量	60,690t (2013年度)	53,700t
産業廃棄物の最終処分率	0.6% (2013年度)	0.5%

## 第5章 都市基盤

### 主な内容

#### ●土地利用

計画的で秩序ある土地利用を図り、歴史的風土や豊かな自然などの地域特性を生かしたまちづくりを推進します。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
地区計画を定めている地区数	35地区 (2013年度)	49地区

#### ●景観

歴史的な町並みや伝統的建造物を保全するとともに、地域の景観と調和した景観づくりを進めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
奈良町(旧市街地)における伝統的建造物の保存整備事業件数(累計)	15件 (2014年度)	100件

#### ●交通体系

パークアンドライド等による交通渋滞の緩和を図ります。また、リニア中央新幹線の新駅誘致を推進します。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
パークアンドライド駐車台数	2,828台 (2013年度)	4,200台

#### ●道路

都市計画道路を整備し、生活道路の新設・改良や橋の長寿命化・耐震化を進めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
道路整備延長	134.6km (2013年度)	143.5km

#### ●市街地整備

駅前広場等の都市基盤施設を整備し、良好な市街地と国際文化観光都市としての町並みを形成します。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
駅前広場整備済箇所数(累計)	12箇所 (2014年度)	14箇所



#### ●公園・緑地

市民等との協働で公園の管理を行い、利用者ニーズの多様化に対応した公園の整備を進めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
グリーンサポート制度 <sup>*2</sup> による公園管理率	27% (2014年度)	40%

#### ●居住環境

空き家等の適正な管理や活用を進めます。また、地域特性に応じた住宅施策を計画的に進めます。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
町家バンクの成約件数(累計)	4件 (2013年度)	25件

#### ●上水道

水質管理による良質な水づくりや老朽化した施設の更新・耐震化により、安全・安心な水道事業を行います。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
管路の耐震化率	16.7% (2013年度)	18.1%

#### ●下水道

計画的かつ効率的に下水道の整備を推進するとともに、下水道施設の適正な維持管理を行います。

目標の達成度を評価する指標(抜粋)	現状値	目標値
公共下水道普及率	91.1% (2013年度)	91.5%

#### ●河川・水路

ゲリラ豪雨などの異常気象に対応できる河川づくりを目指し、治水対策を進めます。

目標の達成度を評価する指標	現状値	目標値
浸水対策事業実施済箇所数	19箇所 (2014年度)	21箇所

\*1: アダプトプログラム: 里親制度と訳され、地域の公共スペースを養子に見立て、市民が里親になって美化活動を行い、見守る制度

\*2: グリーンサポート制度: 公園を快適・安全に利用できるようにするために、一年を通して公園の美化・維持管理・点検等の自主的活動を行う地域の団体に報奨金を交付する制度

## 第6章 経済

### 主な内容

#### ●観光

増加する外国人観光客を含めた観光客の受入体制の整備や情報発信を行い観光客の誘致を促進します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
観光入込客数 （うち外国人数）	1,380万人 （44万人） （2013年）	1,500万人 （100万人）

#### ●交流（国際交流）

市民団体との協働による国際交流活動を推進し、市民レベルでの文化交流や相互理解への取組を支援します。

目標の達成度を評価する指標	現状値	目標値
国際交流団体の登録件数	15団体 （2014年度）	25団体

#### ●農林業

農業の担い手を育成するとともに、農業特産品のブランド化の推進等による農林業の振興を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
認定農業者数	133人 （2013年度）	140人



#### ●商工・サービス業

中小企業への融資や商工関係団体との連携を進めるとともに、起業支援により商工業の振興を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
奈良市起業家支援事業における 起業家数（累計）	15人 （2013年度）	45人

#### ●勤労者対策（労働環境）

高齢者の就業機会を確保し、また若者の就職を促進することにより雇用機会の拡大に努めます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
公益社団法人奈良市シルバー人材 センター会員の就業率	63.8% （2013年度）	70.0%

#### ●消費生活

消費生活相談や出前消費生活講座等を通じて、消費者被害の未然防止に努めます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
各種団体による出前消費生活講座 開催依頼件数	72件 （2013年度）	85件

## 第7章 基本構想の推進

### 主な内容

#### ●市政情報の発信・共有

しみんだよりやホームページなど多様な広報手段を利用して市政情報を発信します。また、市民の意見・ニーズを的確に把握し、市政に反映するよう努めます。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
ホームページのアクセス件数	1,281,184件 （2013年度）	1,500,000件

#### ●市民参画・協働

ボランティア、NPO等の団体や地域住民との連携協力により市民参画と協働によるまちづくりを推進します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
市民参画及び協働によるまちづくり 推進計画実施計画の事案件数	97件 （2014年度）	116件

#### ●情報化

ICTの活用による市民サービスの向上と、市の情報システムの最適化を推進します。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
e古都なら（汎用受付システム）利用率	66.0% （2013年度）	70.0%



#### ●行財政運営

財源確保のための取組を強化し、財政基盤の安定化を図るとともに、民間活力の導入や公共施設の有効活用など行政サービスの質的向上とコスト削減を図ります。

目標の達成度を評価する指標（抜粋）	現状値	目標値
経常収支比率※	97.5% （2013年度）	95.0%以下



※経常収支比率：財政の弾力性を判断するための指標で、市税等の毎年度の財源が、毎年度の経常的な支出に使われる割合。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表します。

## 総合計画策定の趣旨

総合計画は、市政運営の根幹となるまちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための基本方針を示すものです。

「奈良市第4次総合計画」は、人口減少社会の進行をはじめとする近年の社会経済環境の変化に対応した新しいまちづくりの目標を示すため、2011(平成23)年度から10年間の計画として策定しました。

2016(平成28)年度からの「後期基本計画」は、前期基本計画の達成状況及び前期基本計画期間中の社会経済環境の変化や中長期的な展望を踏まえ、奈良市が特に重点的に推進すべき取組や、分野ごとの課題を踏まえた施策の内容を明らかにするため策定しました。

### 奈良市第4次総合計画



## 後期基本計画策定の経緯 ～多くの方々に参加していただきました～

後期基本計画の策定に当たっては、市民の方3,000人を対象とした「奈良市のまちづくりに関する市民アンケート」を実施し、多くの方々からご回答をいただきました。

また、市政において重要な分野である「子育て」「高齢者福祉」「観光活性化」「都市基盤」「環境保護」について、アンケートに回答していただいた市民の中から各テーマ4～6名の方にお集まりいただいて「グループインタビュー」を実施し貴重な生の声をお聞かせいただいたほか、地域に根ざして活動するNPOなどの公益活動団体等からもまちづくりに関するご意見をうかがいました。

このほか、奈良市の地域特性や課題を把握するための基礎調査や、庁内での前期基本計画の振り返り等の結果を踏まえて、後期基本計画の案を作成しました。

計画案は、有識者や各分野で活動する団体の代表者など、26名の委員で構成する「奈良市総合計画審議会」で審議いただくとともに、計画案を公表して市民のみなさまにご意見をいただく機会であるパブリックコメントを実施しました。その後、市議会での審議を経て、後期基本計画を決定しました。



### 総合計画についてもっと詳しく 知りたいと思ったら

「奈良市第4次総合計画 後期基本計画」は、市役所(行政資料コーナー)、出張所、行政センター、図書館、生涯学習センター、公民館で閲覧できます。また、奈良市のホームページにも全文を掲載しています。

### 総合計画に関するお問い合わせは

お問い合わせはこちらまでお願いします。

奈良市 総合政策部 総合政策課  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
TEL: 0742-34-4786(直通)  
URL: <http://www.city.nara.lg.jp/>

## 奈良市第4次総合計画 後期基本計画(概要版)

発行年月: 平成28年2月

発行: 奈良市

編集: 奈良市総合政策部総合政策課